



## 吉備特殊器台復刻プロジェクト

### 復刻特殊器台 & 現代陶芸展

# 原点 回帰

備前の淵源より 新たな陶を求めて

備前焼の美意識と成型術の原点は「特殊器台（弥生時代）」にあり  
復刻した器台・壺とともに新境地を得た参加8作家の新作を一堂にご覧いただきます

日時

平成27年1月17日(土)～25日(日) 9:00～17:00(最終日16:00)  
19日(月)休館日

会場

瀬戸内市立美術館3Fギャラリー

瀬戸内市役所牛窓庁舎内  
瀬戸内市牛窓町牛窓4911

ワークショップ

1月18日(日)「特殊器台をつくろう！」(詳細裏面)



参考出品 伊勢崎淳 相談役



主催 / 吉備特殊器台復刻プロジェクト実行委員会(通称:特殊器台の会)

助成 /



公益財団法人 福武教育文化振興財団

後援 / 倉敷市教育委員会 瀬戸内市教育委員会 岡山歴史研究会 吉備学会 吉備歴文会

## 「吉備特殊器台って何？」

吉備特殊器台とは弥生時代後期に吉備で生まれた巨大な筒型の土器です。華麗な文様、丹で赤く装飾し楯築墳丘墓など王墓の埋葬祭祀のために立てられました。そして、特殊器台による祭祀は突然 大和(現奈良桜井市)纏向遺跡の箸墓古墳の墳頂に現れ古墳時代が幕を開けます。その後、古墳に並べられる埴輪へと変化していくのです。纏向における特殊器台の出土は、吉備がヤマト王権の成立に深く参画したことの現れだとされています。つまり、「ヤマト(日本)誕生」の屋台骨を担ったのが私たちの先祖であり、「吉備特殊器台」はその象徴的存在です。



宮山型特殊器台



立坂型特殊器台特殊壺

### 「備前焼の原点？」

わたしたちは「備前焼の原点」がこの「特殊器台」であると考えます。定説では備前焼は平安後期に登場しその遠祖は5世紀の須恵器に求められます。つまり、5世紀に朝鮮半島より渡来した工人によってもたらされた技術だということです。これは、備前に代表される焼締め陶がこの須恵器窯の導入によって実現したからなのです。しかし、視点をかえるとちがってきます、つまり焼成の技術ではなく成型の技術についてです。今回の復刻に参加した陶芸家たちが「成型の技術と美的概念は現代の備前にまで受け継がれている」と証言しています。5世紀に渡来した工人たちが過去の技術者たちと入れ替わったわけではない、弥生時代の土器づくりの職能集団が新しい技術を取り入れてきた歴史だという訳です。このことは今後非常に大事な論点となるでしょう。

### 「原点回帰 新たな陶を求めて」

特殊器台の意義を多くの皆さんにお伝えするとともに「原点」を深く知り、陶芸の未来を切り拓きたい、これが本展の趣旨の一つです。今回の展覧会を出発点として、参加作家をベースに「新たな陶芸を目指す」作家グループ「蔵世社(びせいしゃ)」を立ち上げ「第Zero回蔵世社展」としたいと考えています。古来、吉備の名の初現は「先代旧事本紀」にある黄蕨(きはら)とされています。その一字を採っての命名ですが、京都の現代陶芸運動体「走泥社」の時代の閉塞感を打ち破ろうとしたその精神に習い「新境地」を目指すという願いを込めたものです。



向木見型特殊器台特殊壺

### 参加作家



小山月泉

赤井夕希子

平川 忠

ジョン T ウェルズ

横山伸一

橋本勘介

小山真吾

森 和彦



### ■ ワークショップ「特殊器台をつくろう！」参加無料

会場 / 美術館3Fギャラリー奥 研修室

ミニチュア特殊器台をプロの指導のもと作ってみましょう。後日、野焼きイベント楯築遺跡でのお祭りイベントもごぞいます。

2015年1月18日(日曜) 9:00~16:00 (内3時間程度は必要ですので9時から13時までにご来場ください)

- 対象参加者 児童・生徒・一般の方
  - 募集人数 30名程度
  - 多少汚れますので服装のご準備をお願いいたします
  - 事前申し込みをお願いいたします
- 担当者 近重博義(事務局)

### 参加申込み票 ワークショップに参加を申し込みます

お名前  ご所属

ご連絡先

電話

E-MAIL

※ ワークショップの申し込みは、いずれかの方法で下記までお申し込み下さい  
Fax 086-233-3555 Tel 090-3375-1362(事務局 チカシゲ) chika@kibi33.com



### 吉備特殊器台復刻プロジェクト 実行委員会(特殊器台の会)

代表/松畑瀬一 相談役/伊勢崎淳  
吉川昌宏 柳瀬昭彦 理事/橋本勘介  
小澤慎 岡将男 近重博義 他約25名  
事務局/岡山市北区表町3-9-30  
連絡先/090-3375-1362(チカシゲ)  
URL <http://kibi33.com/tokushu>